

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 疾病対策課
 担当名: がん対策担当
 内線: 3599

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
B47	がん対策総合推進事業	一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	地域がん対策推進費	
事業期間	平成 8年度～	根拠法令	健康増進法、健康診査管理指導等事業実施のための指針 がん対策基本法 がん登録等の推進に関する法律	針路 分野施策	06 0601	人生100年を見据えたシニア活躍の推進 生涯を通じた健康の確保	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-4
1 事業概要	<p>県民ががんになっても安心して暮らせる社会の構築を目指して、がん検診の受診促進や検診精度向上による早期発見・早期治療の体制整備を進めるとともに、がん患者及び家族の療養生活の質の向上等の各種取組を総合的に実施する。</p> <p>ア がん対策推進協議会等 書面開催への変更等による減 $\Delta 675$千円</p> <p>イ 正しい知識の普及啓発事業 ピアサポーター活動の中止による減 $\Delta 1,417$千円</p> <p>ウ がんワンストップ相談事業 対面相談及び出張相談の中止による減 $\Delta 802$千円</p>						
2 事業主体及び負担区分	<p>イ、ウ 感染症予防事業費等国庫負担(補助)金 (国1/2・県1/2) ア(県10/10)</p>						
3 地方財政措置の状況	<p>普通交付税(単位費用) (区分)高齢者保健福祉費(細目)高齢者保健費 (細目)高齢者保健費 (積算内容)健康診査管理指導事業</p>						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	<p>9,500千円×4.1=38,950千円</p>						
5 事業説明		<p>(1) 事業内容</p> <p>ア がん対策推進協議会等 $\Delta 675$千円 外部有識者等によるがん対策推進計画等の進行管理・評価の実施</p> <p>イ 正しい知識の普及啓発事業 $\Delta 1,417$千円 若いころからのがん教育の推進、ピアサポーターによるがん患者への相談支援の充実</p> <p>ウ がんワンストップ相談事業 $\Delta 802$千円 様々な相談を多職種によりワンストップで応需</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア がん対策推進協議会の開催1回、部会(がん教育、がん患者の就労等)の開催1回</p> <p>イ 小中高校生向けがん教育講座の実施8回、ピアサポーターによる相談支援の実施165回、養成研修の開催2回</p> <p>ウ がんワンストップ相談の実施 月2回、がんワンストップ出張相談会の実施 年2回</p> <p>(3) 事業効果 がん検診受診による死亡率の減少</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活習慣病指導者協議会の書面開催への変更等による減額</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染拡大に伴うピアサポーター活動の一部中止による減額</p> <p>ウ 新型コロナウイルス感染拡大に伴うがんワンストップ相談の実施方法変更及び出張相談中止による減額</p>					
予算額		財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金				
決定額	$\Delta 2,894$	$\Delta 1,110$	$\Delta 1,784$			0	14,492
現計額	17,386	4,171	12,928			287	

事業内訳書

事業名	がん対策総合推進事業		
単位事業名	がん対策推進協議会等	予算額	△ 675千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△635	—	生活習慣病検診管理指導協議会委員報酬の減 △46人分
使用料及び賃借料	△40	—	会議室使用料の減 △3回分
合計	△675	—	

単位事業名	正しい知識の普及啓発事業	予算額	△ 1,417千円
-------	--------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△1,417	—	ピアサポーター謝金の減 △218人分
合計	△1,417	—	

単位事業名	がんワンストップ相談事業	予算額	△ 802千円
-------	--------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△560	—	相談員謝金の減 △28人分
委託料	△60	—	相談員派遣委託の減
使用料及び賃借料	△182	—	会議室使用料の減 △19回分
合計	△802	—	